

プレスリリース

2015年07月15日



TIFO 東芝国際交流財団
T o s h i b a
I n t e r n a t i o n a l
F o u n d a t i o n TOSHIBA INTERNATIONAL FOUNDATION

日本芸術文化国際センター

21世紀邦楽プロジェクト
邦楽アンサンブルの「新作募集」

<主催者 ICJC より>

第1回21世紀邦楽プロジェクト：邦楽アンサンブルの「新作募集」の審査結果に際し、日本芸術文化国際センターと東芝国際基金を代表致しまして、お礼とご挨拶を申し上げます。

応募作品総数は、合計60曲、世界各地より多数ご応募頂きました（オーストラリア、カナダ、中国、イギリス、フィンランド、ギリシア、イスラエル、イタリア、日本、メキシコ、ペルー、フィリピン、ルーマニア、ロシア、韓国、シリア、米国、およびベネズエラ）。

応募作品は、識別番号を用いて匿名での厳選な審査が行われました。その結果、この度、審査員の皆様により、一つの優秀作品と、いくつかの佳作が選ばれました。

このコンクールによって、日本の伝統的な和楽器とその音楽の認識を高め推進することは、ICJCの目的の一つでした。応募作品の質の高さと海外の方からの多くの作曲者の参加は、世界の中で日本の伝統楽器への関心が高くなっていること表していると存じます。

この審査発表は、以下の様にお知らせを致します。

- ・坪能克裕審査委員長からのご挨拶
- ・審査結果
- ・審査経過
- ・審査時のメモより

（この審査経過や審査のメモは、日本伝統楽器・箏という楽器の普及や特性の理解、さらに今後の作曲活動において、お役立て頂ければ幸いに思います。）

優秀作品は、2015年10月に、横浜インターナショナルスクール邦楽アンサンブルが、日本初演（横浜市）と世界初演（ニューヨーク市）を行う予定です。若い演奏者による初演コンサートは、国内外に日本伝統楽器のための新しい作品を宣伝すると同時に、邦楽の魅力も広まることと期待しています。

今後も、「21世紀の邦楽プロジェクト」は、国際的に邦楽について興味を持って頂き、認識して頂けるような活動を継続していこうと思っております。

ジョセフ・アマト博士
ディレクター
ICJC

*残念ながら、クリストファー遙盟（尺八演奏家）は都合により、審査会に出席できませんでした。

< 審査委員長より >

21世紀邦楽プロジェクト新曲公募
審査について

本プロジェクトの公募に寄せられた新曲は、ICJC（主催者）の予想を超えた曲数と、審査員一同が驚きと感激をもった真摯で意欲ある力作に満ち溢れていました。そのため同種の審査会用時間では不足するだろう、と主催者も審査員諸氏も考えました。

そこで第一次審査として、審査員全員が合意した作品郡を選びました。その作品郡にたいして、後日審査室に十三絃と十七絃を持ち込み、試演もできるようにして、再度審査会を開催することにしました。そのため結果発表を延期させていただくことにしました。

第一次審査を通過した作品群は、箏曲アンサンブルの未来の可能性を提示させた作品や斬新な語り口の音楽、独特な奏法による表現など、魅力ある素晴らしい世界を展開させていました。

しかし「物理的に演奏不可能」なところがある作品もありました。調絃や奏法を含め、箏をもう少しご理解いただけていたら良かったと思いました。選外にするには惜しい作品が多数ありました。公募の作曲家が箏曲の演奏家と自由に交流できて、加筆・訂正ができるようだと、もっと多くの邦楽アンサンブル作品が世に出て行けたと思われました。

応募くださいましたみなさま、主催者・審査員諸氏・ご支援くださいました多くの人びとに感謝いたします。

審査委員長・坪能克裕

< 審査結果 >

賞	氏名	作品正題	賞金・特典
優秀第1位	服部伶香	Traitor <i>violin and 17-string koto</i>	・賞金1位50万円, 賞状 ・演奏と初演CDの授与: 日本国内交通費/宿泊 ・楽譜出版(マザーアース)
優秀第2位	該当者無し	-	-
特別賞	David Loeb	霧響 <i>cello, three 13-string kotos, 17-string koto</i>	・演奏(日程は未定) ・賞状
奨励賞	Hyo-Shin Na	Fukujuso	・賞状
	横田直行	アンフォルメル I	・賞状
	金子晋一	雅び言	・賞状
	伊藤高明	走馬灯 3	・賞状
	Hikari Ferneyhough	Sonata	・賞状
	Sam Leith Taylor	Sweet belly, open field	・賞状
	Mao Zhu	Over The River	・賞状
	高橋一寿	三ツ舞	・賞状
	鈴木友彦	～都節平行・交差・ そして合成	・賞状
	Martin Schreiner	Fire Walk	・賞状
	John Seymour	波間の序、破、急	・賞状
	岡本伸介	Weaving spells into a starlit sky	・賞状
	南川弥生	天道	・賞状
	稲谷祐亮	深緋椿	・賞状
	Nicholas Frances Chase	Gayate	・賞状
	持麿勉	海に降る雨	・賞状
	三枝木宏行	Utsu-Semi	・賞状
	山中千佳子	To A Sanctuary	・賞状
	渡辺宏章	影の香	・賞状
	Stephen Cronin	Arion's Harp	・賞状
	Haris Kittos	Fauve	・賞状
	Kento Iwasaki Watanabe	Life Cycle of Cicadas	・賞状
	増田真結	おとはしぐれか	・賞状

< 審査経過 >

- 1) 応募締め切り／2015年5月31日
 - ・ 応募数：60曲、応募国：19カ国
 - ・ 応募者リスト作成

- 2) 審査準備／2015年6月1日、9日
 - ・ 審査用の楽譜から名前等個人を判別できるものをカット。

- 3) 予備審査1／2015年6月10日
 - ・ 募集要項に沿った応募かどうかを確認。
(例：編成，時間，楽譜が読めるかどうか等)

- 4) 予備審査2／2015年6月1日～10日
 - ・ 物理的に演奏が出来るかどうかの基本的な部分の確認。
(例：調絃、音域、速度等)

- 5) 一次審査／2015年6月13日13時～17時、国際文化会館
 - ・ 審査員による楽譜審査が行われた。
 - ・ 応募曲60曲から25曲の候補曲にしぼる。
 - ・ 再度時間をかけて審査するため結果発表を延期。
(発表は7月15日とする。)

- 6) 楽譜審査及び演奏調査／2015年6月13日～22日
 - ・ 候補曲25曲を10日かけて、審査員が審査する。
 - ・ 平行して演奏の可・不可も確認する。

- 7) 二次審査／2015年6月22日16時～20時
 - ・ 一次審査通過作品25曲を奨励賞とすることを決定。
 - ・ 一次審査通過作品を二次審査。
 - ・ 楽器持ち込みの上確認。
 - ・ 審査メモ集計。

- 8) 最終決定／2015年7月13日
 - ・ 優秀作品、特別賞決定

<審査時のメモより>

～審査時に審査員が推挙しなかった個別理由～

- ・編成、楽譜、演奏時間に不備があった。
- ・奏法、技法が中心の作品だった。
- ・洋楽器ソロのコンチェルトに近い作品だった。
- ・即興にゆだねる部分が多すぎる作品だった。
- ・コンセプトの斬新さが無い。
- ・物理的に演奏不可能。
(例：左手の奏法、例えば押しと転調と消し爪が連続している。右手のテクニックが演奏不可能。等)
- ・箏の特性を理解していない。
(例：運指の方向の問題。コンピューターやピアノと箏は違う。等)
- ・箏や十七絃箏の特性が体感されていない。
(例：十三絃で容易い押しであっても、大型の十七絃では張力が増して同様にはできない。等)
- ・演奏しても魅力を発見しづらい。
- ・曲中の箏柱の移動に無理がある。
(例：移動時間やタイミングの問題。低音域での移動。等)
- ・十七絃箏の可能性や特性を理解していない。
(例：不可能な押し。十三絃箏と十七絃箏は違う。等)
- ・合奏のバランスに問題がある。

～審査時に審査員が推挙した個別理由～

- ・演奏が可能である。
- ・合奏のバランスが取れていた。
- ・箏のアンサンブルの未来への可能性を感じた。
- ・真摯で意欲的な力作。
- ・斬新な語り口の音楽。
- ・独特な奏法や音使いによる表現。
- ・楽器の特性を新たに開いている。
- ・魅力にあふれ素晴らしかった。

*審査に関する一切のお問い合わせには応じられませんのでご了承下さい。